

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

世界中から届いた
核兵器廃絶の声を実感

国際色豊かな平和行進

マンガや英語のメッセージを
使い署名を求めました

仲手川代表（左）と本田代表（右）

核兵器の廃絶が焦点となっている核不拡散条約（NPT）再検討会議（5年に1度開催）が4月27日から5月22日までニューヨークの国連本部で開催されました。これに合わせ行われた平和行動（4月25日～5月1日）に、勤医会代表の代々木病院の本田真穂さんと代々木歯科の仲手川ともみさんが参加しました。

願いを世界に届ける事が出来た

日本原水協からは核不

拡散条約（NPT）再検討会議が行われる時期に合わせて派遣された約1千人からなる代表団の一員としてニューヨークに行き、「核兵器のない世界の実現を！」と訴えてきました。

現地では、署名活動、集会、平和行進、国際シンポジウムなど、様々な行動に参加しました。

全てとても印象的であったのですが、世界中にこれだけ沢山の核兵器廃絶を求める声があること、そして私達の願いを世界に届ける事が出来た

ということを実感しました。

今回、本当に様々な方からご支援・ご協力を頂いたおかげで、無事ニューヨークでの活動に参加出来ました。

ニューヨークにて、市民活動の大切さ、そしてその活動の先頭に若者が立っていかないといけないと感じました。今度またニューヨークでの活動の報告を行いたいと思いますので、またぜひ直接ご報告をさせて頂ければと思います。

ご協力を頂いた皆さま、本当にありがとうございます。

代々木病院 医学学生室 本田真穂（事務）

被爆者の方の想いを引き継ぎたい

4月25日からアメリカ

ニューヨークに行き、核



世界各国の人たちとの交流

不拡散条約（NPT）再検討会議に合わせて行われたデモ行進や国際シンポジウムに参加しました。特に印象的に感じたのは、デモ行進の際にアメリカの団体が原爆投下に対する謝罪の言葉を掲げていた事でした。

70年経った今でも、被爆者の心の傷というのは癒えるものではないと思います。

この先、世界中で誰も

が核兵器の悲劇を繰り返すことのないよう、活動されている被爆者の方の想いを引き継いでいきたいと思います。

仲手川ともみ（歯科衛生士）

第86回メーデー
勤医会や関係事業所から430人参加

メーデーは5月1日に開催され、勤医会や関係事業所から430人が参加しました。代々木公園の中央メーデーには全体で2万8千人が参加しました。強い日差しのもと勤医会都内地域事業所を中心に129人が集結。集会後は新人を先頭に新宿までデモをしました。

千駄の萱

敗戦から70年、人の一生に匹敵する時の流れと先の見えない世界の動き等が、安倍総理を宿願である「憲法改正」の最終ステージに立たせようとしている▼昨年7月の集団的自衛権容認の閣議決定は、憲法より上位に位置すると言われる日米安全保障条約や日米地位協定の下での、戦争に向けた危険な一歩となった。そして、今や国会では安全保障法制の審議が始まり、憲法改悪に向けた動きも本格化している▼フランク・パブローフ氏のベストセラー「茶色の朝」は、毛が茶色以外の犬猫を飼うことを禁じた法律ができた国において、主人公は元の猫を処分し、茶色の猫を新たに飼い始める。しかし、法が拡大解釈され以前に茶色以外の猫を飼っていた人も「反逆罪」になり、主人公も逮捕されるといふ物語である。私達に無縁の物語ではないと考えさせられる▼最後に、ドイツの哲学者ヘーゲルは、重要な事は二度経験しないと本当には理解できないと言っている。しかし、二度目の敗戦と原発事故を望まない私達にとって、今こそ、憲法や原発の問題が旬である。

(ま)